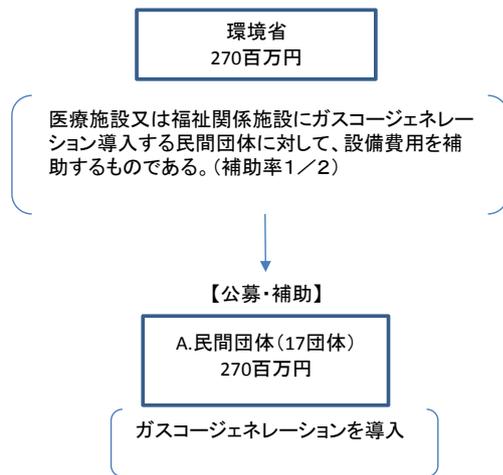


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	節電・電源セキュリティ向上緊急事業（病院等へのコージェネレーションシステム緊急整備事業）		担当部局庁	地球環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度(3次補正)		担当課室	地球温暖化対策課		調整官 神谷洋一		
会計区分	一般会計		政策・施策名	1. 地球温暖化対策の推進 1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「復興への提言～悲惨のなかの希望～」(東日本大震災復興構想会議) 「東日本大震災からの復興基本方針」(東日本大震災復興対策本部) エネルギー基本計画、地球温暖化対策基本法案、新成長戦略、京都議定書目標達成計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療施設又は福祉関係施設への、都市ガス又はLPGを使用したガスコージェネレーションシステムの導入を支援することにより、「電源の二重化」による電力供給の安定化を図り、災害時における人命にかかる事態を回避するとともに、地球環境問題としての温室効果ガス排出、地域環境問題としての大気汚染物質排出の双方を同時に削減するという重要かつ緊急な課題に対応することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	厚生労働省と連携して公募し、医療施設又は福祉関係施設にガスコージェネレーションを導入する民間団体に対して、設備費用を補助する。(補助率1/2)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		-	-			
		繰越し等		525	-			
		計		△512	512			
	執行額			13	270			
	執行率 (%)			100%	53%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (24年度)
	補助事業によるCO2削減量		成果実績	t-CO2	-	85	1,169	2,700
			達成度	%	-	-	43%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	補助事業実施件数		活動実績 (当初見込み)	件	-	1	18	-
					-	(15)	(14)	(-)
単位当たりコスト	15,398(円/t-CO2)		算出根拠	270百万円(執行額)/1,169t-CO2(年間のCO2削減量見込み×15年(法定耐用年数))				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	-	-	-	-				
	計							

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策は喫緊の課題である。 ・非常用電源としてはディーゼル発電機が主流であるが、地球温暖化対策を推進するためには国がコージェネレーションシステムの導入を支援する必要がある。 		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・補助率を1/2としており、受益者にも相応の負担を求めている。 ・公募による事業者の募集締め切り後、ガスコージェネレーションシステムの発注件数が増え、同システムの確保が困難になった代理店が増えてきたことに加え、復興推進会議において「今後の復興関連予算に関する基本的な考え方」が決定されたことから、これに基づき新たな交付決定を見直したため、不用が生じた。 		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・コージェネレーションシステムの導入により、安定した電力供給体制の整備及び温室効果ガス排出の抑制並びに大気汚染物質排出抑制ができる。 		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスコージェネレーション推進事業補助金(経済産業省)は、家庭用需要を除く全業種の大規模な需要を想定としているのに対し、本事業は、医療施設等に限定し集中的に整備することとしている。 		
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
	0453	ガスコージェネレーション推進事業補助金			経済産業省資源エネルギー庁
点検結果	平成23年度3次補正予算であり、平成24年度限りとする。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	復興-014	平成24年 029	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

A.医療法人順正会					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
本工事費	設備費、工事費等	66.5			
付帯工事費	配管支持金具費等	0.5			
機械器具費	運搬交通費等	0.5			
測量及試験費	設計費等	4.5			
計		72	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	医療法人順正会	ガスコージェネレーションの導入	72		
2	社団法人 巨樹の会	ガスコージェネレーションの導入	35		
3	財団法人 信貴山病院	ガスコージェネレーションの導入	24		
4	医療法人社団 麻生会	ガスコージェネレーションの導入	15		
5	医療法人社団三宝会	ガスコージェネレーションの導入	15		
6	医療法人財団中山会	ガスコージェネレーションの導入	12		
7	一般財団法人博慈会	ガスコージェネレーションの導入	13		
8	医療法人頌徳会	ガスコージェネレーションの導入	12		
9	社会福祉法人頌徳福祉会	ガスコージェネレーションの導入	11		
10	医療法人岡谷会	ガスコージェネレーションの導入	7		